

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

## CONTENTS

巻頭特集

「生きる」

摂食障害、社会復帰の途上に（2～4面）

- 県社会福祉協議会、令和3年度事業概要
- 長岡・上越でも3年ぶり福祉就職フェア
- 逸品—おしゃれにクラフトテープ細工品

7月号  
2022  
第839号

絵 「川流れ」  
作家・佐藤葉月（妙高市）



<作者一言> カップの川流れ…。カップにもかなづちはいるかもしれないでしょ?!



バックナンバー  
こちらから



社会福祉  
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp/>

# 生きる

拒食や過食など、食事に  
関して異常な行動が続く摂  
食障害。中村優美さん新潟市南区は食べては吐く  
過食嘔吐を繰り返し、今か  
ら10余年前の20代半ばに生  
死の境をさまよった。治療  
の末、社会復帰した現在は、  
生きづらさを抱える若者た  
ちの支援活動などを続ける  
一方で、自らに誓う。「い  
ろいろあっても生きてい  
く。支え合ってつながって  
生きていく」

「覚悟しておいてくださ  
い」。病床の女性が危険  
な状態であることを、病院  
の医師は家族  
に告げた。

## 頭集 巻特

病床には20  
代半ばの優美  
さん。10代前  
半からの摂食

## 摂食障害抱えて

障害で「食べ吐き」を繰り返してきた。その後、アル  
コール依存症も加わり、肝  
機能は悪化。内科病棟に入  
院後、体重は一時、23キロに。  
全身に炎症が広がる敗血症

は優秀だった。きょうだい  
が多い中で、一番に母の関  
心を引こうと、勉強した。  
母の代わりに、医師の父が  
ほめてくれた。

障害で「食べ吐き」を繰り返してきた。その後、アル  
コール依存症も加わり、肝  
機能は悪化。内科病棟に入  
院後、体重は一時、23キロに。  
全身に炎症が広がる敗血症

を引き起こし、若い命は危  
機に瀕した。  
新潟市中央区で、5人  
きょうだいの4番目として  
育った。子どもの頃、成績

勉強熱心な日々の陰に摂  
食障害が忍び寄っていた。  
中学3年。身長157センチ  
体重65キロ。ぼっちゃりして

## 食べて吐く繰り返す



### 中村 優美さん

(新潟市南区)

いた。「勉強中に眠くなる  
のが嫌で、常にお菓子を食  
べて口を動かした」  
その半面「食事を取ると、  
気持ち悪くなった」。後に  
見つけた内臓の病気が原  
因かもしれない。お菓  
子を食べる一方で、次第に  
食事を遠ざけていった。

【摂食障害】 食事の量や  
取り方など食事に關して異  
常行動が続く病気で、主に  
拒食症と過食症が知られ  
る。また、過食症には食べ  
た後で吐き出す過食嘔吐  
と、吐かずに食べ続けるタ  
イプがある。年代や性別を

問わず、誰でも発症する  
が、10代〜20代の若者、特  
に女性に多いという。  
摂食障害は「心の病」と  
され、極端なダイエットの  
ほか、人間関係や仕事のス  
トレスなどが原因で発症す  
ることが多い。

厚生労働省ウェブサイ  
トによると摂食障害で国内の  
医療機関を1年間に受診す  
る患者は約21万人。しか  
し、この数字は氷山の一角  
といわれる。未治療者や治  
療中断者がカウントされて  
いないため。

## 20代で体重20キロ台 生死の境さまよう

成績優秀だけあって県立  
の難関高に入学。しかし、  
その後すぐ、屈辱を味わっ  
た。1学期の定期テストで  
数学が赤点  
だった。

「夏休みの  
補習授業に出  
ようと家を出  
た。だけど、  
学校に行けな  
かった」。そ  
のまま退学を  
決めた。

翌年、県立  
の通信制高校  
に入り直し  
た。全日制に  
比べ時間が自  
由になり、アルバイトした。  
食事は1日1食。その1食  
をトイレで吐き出した。10  
代後半、体重30キロ台。

「親の意見に聞く耳を持  
たなかった。同じ家なのに  
親を避けて暮らした」  
摂食障害がテーマの小説  
を読んで思った。「自分も  
摂食障害なのかも」

(3ページへ続く)



# つながって支え合って生きていく



(3ページから続く)

今年3月、新潟市中央区で開かれたイベント「未来地図CANVAS」で、優美さんはキー

ボードを弾きながら歌った。

イベントは、障害や生きづらさを抱える人た



「未来地図 CANVAS」でキーボードを弾く中村優美さん(右)



ちが音楽演奏の披露などを通じて相互理解を図ろうと企画された。優美さんは主催側の共同代表で、出演グルー

## 患者同士で励まし語る 自助活動の可能性信じ

プのメンバーでもあった。イベントでは、出演者の誰もがステージで自らの障害や生きづらさをオープンに語った。「包み隠さないのは、生きやすいから」。優美さんの生き方でもある。イベントを告知するチラシに、優美さんは自分の思いを一文にして載せた。

「色々あっても生きていく(中略)繋がって、支え合って、なんなら楽しく生きていく」  
ピアサポーターの力を信じる。NPO法人「Colorful map」副理

## 現在は若者らを支援 自身の社会復帰なお途上

事長として、生きづらさを感ずる若者らを支援。放送大学に再入学して勉強を重ねる一方、後輩学生のバックアップ活動も続ける。「私の活動はピアサポーターに似たものばかり」。しかし、仲間づくりと情報交



NPO法人「colorful map」トークイベント



講演する中村優美さん

【中村優美さん連絡先】  
E-mail: woquinoncoin2nd@gmail.com  
【関わる活動とウェブサイトURL】  
◆NPO法人Colorful map◆  
<https://colorful-map-npo.jimdofree.com/>  
◆放送大学新潟学習センター  
学生サークルにいがたピアサポート◆  
<https://niigata-peersupport.jimdofree.com/>

換のため、青年会議所(JC)にも加わる。  
父の医院で働く一方、通信制高校の後輩と結婚した。体重は40kgほどを維持するが「ほぼ夕食だけ」の1日1食は変わらない。  
「私はいまだ摂食障害の当事者。社会復帰はまだ半分だけ」。摂食障害は完治しない場合もあり、付き合っていく覚悟だ。  
アルコール依存症は断酒治療が奏功。二度と繰り返さないよう夫も協力する。  
「私は死にかけたのに救われた。だから、この命大切に生きて生きる。生きて生きて、人生を楽しむ」

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



**保険金額・年間保険料 (1名あたり)** 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設]特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金			1,040万円		
	後遺障害保険金			1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額			6,500円		
	手術保険金	入院中の手術			65,000円	
		外来の手術			32,500円	
	通院保険金日額			4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)			5億円(限度額)		
		<b>年間保険料</b>	350円	500円	550円	

商品パンフレットは  
コチラ



(ふくしの保険)  
ホームページ)

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。  
例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

## ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償 (傷害保険)

## 福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

# 新潟県社会福祉協議会 令和3年度事業実施報告書概要版

## 1 新潟県社会福祉協議会活動指針の推進

新潟県社会福祉協議会の基本理念や基本方針実現のため、令和3～5年度を計画期間とする活動指針に定める次の4事業を重点的かつ計画的に実施した。

### (1) 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進

地域共生社会実現に向けた地域福祉活動の取組推進を図るため、市町村社会福祉協議会が抱える諸課題の把握及び分析に基づく解決に向けた方策の検討や、その取組が円滑かつ効果的に推進できるよう推進体制を整備し、必要となる仕組みづくりや個別支援に係る事業を実施した。

- ① 市町村社会福祉協議会が抱える課題の抽出及び検討
  - ・10町村社会福祉協議会との個別の情報共有・意見交換会実施
- ② 地域共生社会実現に向けた関係機関・団体との連携の場づくり
  - ア 地域共生社会実現に向けた取組
    - ・市町村社協情報共有オンライン会議開催
    - ・地域福祉・相談援助業務担当職員向けこころの健康、ストレスケア研修開催
    - ・地域共生社会実現に向けた「重層的支援体制整備事業」学習会開催
  - イ 市町村間のプラットフォームづくりの推進
    - ・災害時福祉支援活動推進 ・新潟県福祉教育推進会議開催
    - ・ひきこもり支援をテーマにした市町村社協担当職員による緩やかなネットワーク会議開催
  - ウ 新たな社会課題の解決に向けた具体的取組
    - ・ひきこもり者への支援推進研修会開催 ・地域アセスメントに基づく地域福祉推進セミナー開催
    - ・地域の居場所創出支援

### (2) 自立生活を支えるための包括的な総合相談・生活支援体制づくりの推進

高齢・障がい・子ども・生活困窮など各専門支援機関との連携の促進や「暮らし」全般に及ぶ伴走型支援に向けた多機関協働の中核的な役割を果たす機能が必要とされている。

「暮らし」を支える幅広い知識やスキルを身につけ、各専門的な支援機関等と連携協働して、住民を支援できる能力を有する人材を育成することや各専門的な支援機関や他職種の人々が円滑に連携協働できる広域的なプラットフォームの構築を支援していくことを目的に研修会等を開催した。

・生活福祉資金貸付事業担当者会議(兼生活困窮者自立支援担当者研修) 3月24日 Web 参加者55名

### (3) 地域における権利擁護体制の推進

市町村社会福祉協議会の、地域における権利擁護体制の構築や権利擁護事業の実施や拡充に向けた支援を行うとともに、市町村における成年後見制度利用促進体制の整備や強化を図るための各種事業＝写真＝を実施した。

- ① 地域における総合的な権利擁護体制づくり検討会 2回
- ② 権利擁護センター等推進研修会 2月10日 Web 参加者77名
- ③ 成年後見制度体制整備検討会、広域体制整備支援等アドバイザー派遣  
対象9市町村、アドバイザー派遣人数 延べ44名
- ④ 法人後見専門員スキルアップ研修会 2月2日 Web 参加者71名
- ⑤ 法人後見実施団体等による意見交換会 8月18日 Web 参加者35名
- ⑥ 市町村長申立推進研修会 9月15日 Web 参加者105名
- ⑦ 法人後見推進研修会 7月14日 Web 参加者86名



成年後見制度に関する研修会

### (4) 福祉職の魅力についての啓発の推進

- ① 福祉現場で働く職員・事業所へのインタビュー  
3法人・事業所について動画を作成し公開＝写真＝
- ② 福祉施設の職場体験事業  
新型コロナウイルス感染症拡大により実施することができなかったため、代替事業を実施した。
- ③ 福祉人材センター職員による職場体験レポート  
新型コロナウイルス感染症拡大により実施することができなかった
- ④ インスタグラムによる職員・利用者の写真公開  
インスタグラム等のツールについても含めて効果的な運用を検討
- ⑤ 関係団体・法人等との連携事業
  - ア Face to Fukushi主催の「R3介護のしごと魅力発信事業」に参加
    - ・9月28日 第1回打ち合わせ会議実施
  - イ 県担当課と福祉人材の現状や取り組み状況等について意見交換を実施
    - ・3月14日 県高齢福祉保健課、子ども家庭課 ・3月24日 障害福祉課



福祉事業所の動画を撮影し公開

## 2 基本方針別の事業実施概要

### (1) みんなで育む福祉のまちづくり

- ① 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成
  - ア 第71回新潟県民福祉大会の開催=**写真**= 10月20日 新潟市 参加者約300名
  - イ 福祉・介護・健康フェアの開催(知る・学ぶ「福祉・介護・健康」)
    - ・新潟会場 10月17日・11月23日 参加者 1,807名=**写真**=
    - ・長岡会場 11月13日～21日 参加者 936名
    - ・上越会場 11月3日 参加者 450名
- ② 地域福祉活動・市町村社協活動支援事業振興
  - ア 市町村社協会長視察研修 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止
  - イ 市町村社協職員課題別研修・社協新任及び初級職員研修会 1回・課題別研修 3回
- ③ 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進
  - ア 市町村社会福祉協議会が抱える課題の抽出及び検討
    - ・市町村社会福祉協議会への個別調査 10カ所
    - ・市町村社会福祉協議会への個別支援 10カ所
  - イ 地域共生社会の実現に向けた関係機関・団体との連携の場づくり
    - a 地域共生社会の実現に向けた会議、研修 3回
    - b 市町村間のプラットフォームづくりの推進
      - ・災害時福祉支援活動推進に係る会議、研修等 10回・新潟県福祉教育推進会議 2回
      - ・ひきこもり支援をテーマにしたネットワーク会議 3回
    - c 新たな社会課題の解決に向けた具体的取組
      - ・ひきこもり者への支援推進研修会 1回・地域アセスメントに基づく地域支援セミナー 1回
      - ・地域の居場所創出支援に係る調査、研修会 2回
- ④ ボランティア活動・社会貢献活動の振興
  - ア 災害救援活動の推進 災害支援コーディネーター養成研修 初級、中級、上級各1回
  - イ 福祉教育の推進 福祉教育推進セミナー 2回
  - ウ 県民たすけあい基金運用益助成事業 37団体 13,236,250円
- ⑤ 関係機関・団体との連携・支援の推進
  - ア 福祉関係団体との連携・協働を基盤とした政策提言、予算要望活動の実施  
福祉団体共同による県知事及び県福祉保健部長に対する要望活動 12月22日 新潟市
  - イ 災害福祉広域支援ネットワーク事業の推進
    - ・災害福祉支援チーム員基礎研修 11月18～19日 新潟市 受講者14名



第71回県民福祉大会



「知る・学ぶ「福祉・介護・健康」の講演会

### (2) 一人ひとりの自立生活づくり

- ① 高齢者の社会参加の促進
  - ア ねんりんピック
    - ・第26回にいがたねんりんピック=**写真**= 10種目  
(新型コロナウイルス感染症の影響により3種目中止)
    - ・全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック)  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
  - イ シニアカレッジ新潟=**写真**=
    - ・基礎応用課程講座  
1年次 4クラス 全12日間 2年次 4クラス 全14日間
- ② 高齢者の生活支援の充実
  - ア 高齢者総合相談センターの運営  
相談者 1,833名 相談延件数 2,549件
  - イ 認知症コールセンターの運営  
相談者数 375名 相談延件数 660件
- ③ 障害者の社会参加の促進
  - ア 福祉の店パレット新潟店の運営
    - ・農福マルシェ新潟・長岡・上越開催の協力(新潟県社会就労センター連絡協議会への協力)
    - ・授産事業活性化・福祉商品デザイン相談会の開催 1日間 15施設
  - イ 障害者就労支援事業の展開
    - ・オリジナルキャラクター「にいたっち」マスクの制作・販売 1,693枚・子育て応援ステッカーの制作・販売 1,433枚
    - ・募金型自動販売機の制作・設置=**写真**= 13台
    - ・寄附金の受け入れ 5社・パートナー企業 28社・団体



にいがたねんりんピック



シニアカレッジ新潟の卒業式

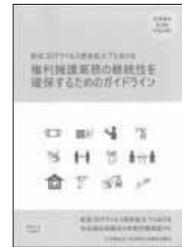


「にいたっち」募金自販機

- ④ 生活の安定への支援
  - ア 生活福祉資金等貸付事業  
貸付件数：6,446件／貸付額：2,030,342,000円(うち、特例貸付：6,311件／貸付額：1,994,545,000円)
  - イ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業  
貸付件数：7件／貸付額：2,230,000円
  - ウ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金事業  
貸付件数：15件／貸付額：21,826,000円
- ⑤ 自立生活を支えるための包括的な総合相談・生活支援体制づくりの推進
  - ・生活福祉資金貸付事業担当者会議(兼生活困窮者自立支援担当者研修) 3月24日 Web 参加者55名

### (3) 利用者主体の福祉サービスづくり

- ① 日常生活自立支援事業
  - ア 契約締結審査会 2回
  - イ 権利擁護主幹部課長・担当者合同会議 3月3日 新潟市 Web 参加者40名
  - ウ 専門員ミーティング 7月1日 新潟市 Web 参加者40名
  - エ 専門員研修会 2回
  - オ 生活支援員研修会 2回
  - カ 人材育成プログラム企画会議 3回
  - キ 新型コロナウイルス感染状況下における社会福祉協議会の持続可能な事業活動推進体制構築事業の実施
    - ・ワーキングチーム 6回
    - ・「権利擁護業務の継続性を確保するためのガイドライン」=写真=の策定 制作部数200部
- ② 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実
  - ア 福祉サービス運営適正化委員会の開催 ・委員会 2回
    - ・利用援助事業調査小委員会 4回 ・苦情解決小委員会 5回(苦情受付実績6件)
  - イ 福祉サービスに関する苦情解決研修会の開催  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止



「権利擁護業務」関連ガイドブックの冊子

### (4) 福祉を支えるひとづくり

- ① 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援
  - ア 福祉人材センター事業
    - ・福祉人材無料紹介所での求人求職相談、斡旋  
相談件数 8,726件 採用 98名
    - ・福祉のしごと就職フェア  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からWebによる就職フェアを4日間にわたり1回、および感染症の拡大状況を見ながら新潟ユニゾンプラザで対面による就職フェアを1回開催=写真=
    - ・人材確保のための法人向けセミナーの開催  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止とし、動画配信により実施  
配信期間：10月20日～12月31日 参加法人：95法人 視聴回数：322回
  - イ 介護福祉士等修学資金貸付事業の実施
    - ・介護福祉士・社会福祉士修学資金 貸付件数：413件／貸付額：152,850,000円
    - ・介護福祉士実務研修受講資金 貸付件数：127件／貸付額：20,910,000円
    - ・離職介護人材再就職準備金 貸付件数：8件／貸付額：2,940,000円
  - ウ 保育士修学資金貸付等事業の実施
    - ・保育士修学資金 貸付件数：45件／貸付額：189,100,000円
    - ・潜在保育士再就職準備金 貸付件数：0件／貸付額：0円
- ② 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進、介護分野への参入促進
  - ア 介護実技動画のインターネットを活用した普及・PR=写真=
    - ・令和2年度に制作した介護実技等の動画6本と講座のダイジェスト版9本を、引き続き新潟県社会福祉協議会のYouTubeチャンネルで無料公開した。(3/31現在のチャンネル登録者数2,280人、制作動画6本の合計閲覧数26.2万回)
  - イ 動画を活用した県民介護知識・技術習得講座の開催
    - ・上記アの制作動画を実技で活用し、介護知識技術の普及に努めた。
    - ・介護技術・基本コース 新潟市、長岡市で4回開催 参加者61名
    - ・介護技術・ステップアップコース 新潟市、長岡市で4回開催 参加者40名
    - ・介護体験・入門コース 新潟市、上越市で12回開催 参加者163名



「福祉のしごと就職フェア」



「介護技術」の動画公開

### (5) 法人運営機能の強化

- ① 総合企画部会の開催 2月7日 新潟市
- ② 職員の育成・組織力向上  
組織力向上研修、社協職員研修、実践研修などを実施
- ③ 新潟ユニゾンプラザの管理運営
- ④ 新潟県社会福祉協議会事業継続計画(BCP)の評価・改善

# 福祉のしごと 就職フェア

## 長岡、上越も3年ぶり開催



↑長岡 「福祉のしごと就職フェア」 上越↓



### 対面方式、 歓迎の声

「福祉のしごと就職フェア」（県福祉人材センター主催）が6月4日に長岡市で、18日には上越市で開催されました。福祉関係の求職者と求人事業が直接対面する就職フェアの両市での開催は新型コロナウイルス感染症拡大で中止が続いたため、3年ぶりとなりました。

ハイブ長岡での「福祉のしごと就職フェアin長岡」には、中越地域を中心とした社会福祉法人やNPO法人、株式会社などが福祉に携わる25の事業所が参加。求職者は来春、卒業予定の学生や就職希望者ら50人近くが訪れました。

3年ぶりの対面開催について参加者は「リモートだと言葉が伝わりにくい。対面はラッキーです」と歓迎。資料を手にブースを回っていました。

一方、上越市民プラザでの「福祉のしごと就職フェアin上越」には上越地域を中心とした11の事業所がブースを構えました。学生や一般の就職希望者ら20人が訪れ、関心のある事業所から仕事の内容などを聞いていました。

## 2022年度 福祉のしごと 就職フェア

自分に合った福祉の職場を見つけよう！

<p style="text-align: center; font-weight: bold;">in 新潟</p> <p style="text-align: center;">朱鷺メッセ (新潟市中央区)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">5/14<sup>±</sup></p> <p style="text-align: center;">就活支援セミナーの同時開催！</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">in 長岡</p> <p style="text-align: center;">ハイブ長岡 (長岡市)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">6/4<sup>±</sup></p> <p style="text-align: center;">就活支援セミナーの同時開催！</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">in 上越</p> <p style="text-align: center;">上越市市民プラザ (上越市)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">6/18<sup>±</sup></p> <p style="text-align: center;">就活支援セミナーの同時開催！</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">in 新潟</p> <p style="text-align: center;">新潟ユニゾンプラザ (新潟市中央区)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">10/30<sup>日</sup></p> <p style="text-align: center;">就活支援セミナーの同時開催！</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">in 新潟</p> <p style="text-align: center;">新潟ユニゾンプラザ (新潟市中央区)</p> <p style="text-align: center;">2023年</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">2/18<sup>±</sup></p> <p style="text-align: center;">就活支援セミナーの同時開催！</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">学生限定！就職説明会</p> <p style="text-align: center;">新潟ユニゾンプラザ (新潟市中央区)</p> <p style="text-align: center;">2023年</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">3/4<sup>±</sup></p>

お問合せ  
お申込み

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟県福祉人材センター

〒950-8575  
新潟市中央区上所 2-2-2  
新潟ユニゾンプラザ 3階

TEL 025-281-5523  
FAX 025-282-0548

福祉人材  
センターHP

公式LINE

主催 新潟県 / 新潟県福祉人材センター



# 赤い羽根情報

「新テーマ型募金」浄財活用

## 移転先施設にエレベーター

新潟市中央区「さんろーど」

NPO法人・障がい者生活ステーション「さんろーど」は昨年春、新潟市中央区蒲原町へ、少し離れた場所から移転しました。移転に伴い、県共同募金会の「にいがた・新テーマ型募金」に寄せられた浄財により、1階と2階を結ぶエレベーターを施設に設置することができました。



茶色の扉のエレベーターを取り付けた「さんろーど」(新潟市中央区)

仲間たちはエレベーターを使えるようになって大喜び

びしました。エレベーターは今、車いすの利用者をはじめ、身体の不自由な仲間たちの、日々大切な移動手段となっています。2階には広いプレイルームがあり、そこで様々な行事を行い、楽しい時間を過ごすことができています。

新テーマの募金活動を通して、私たちは多くの方々に支えられていることを改めて感じました。募金に際して応援の言葉などもたくさんいただき、活動の励みになっています。

新型コロナウイルスの感染はまだ収束の兆しが見えず、皆さんへのお礼はお手紙のみとなっています。いつの日か、皆さんに直接お礼できる日が来ることを願っています。本当にありがとうございました。



数十年後にはヒトの仕事の半分をAI(人工知能)が担うとされる。人材不足が深刻な介護業界でも、その解決の切り札として介護ロボットやIT(情報技術)機器の開発に期待が高まっている。行政も、介護業務へのIC

### 介護のIT化

IT(情報通信技術)導入を積極的に支援・推進しており、現場では見守りセンサーの導入やケースの記録のIT化など、さまざまな場面で活躍するIT機器などを目にするようになった。

介護職の業務をサポートする機器の導入や開発は、従事する職員の負担軽減をはじめ

## 「人が主役」忘れずに

め、安心・安全な職場づくりなどにも効果が期待される。人材は、募集すればすぐに集まる時代ではなくなった。では、どうすれば人材を集められるのか。

例えば、介護事業所でのIT化など、先進的取り組みが若者たちの興味や関心を引けば、人材不足解消の一助につながるかもしれない。

そうならば「介護のIT化」は職員の負担軽減だけでなく、複数の意味と意義を持つてこよう。

ただし、介護する側もされる側も主役は「人」である。その視点を忘れずにIT化を推進させることが何より肝要



だ。その視点を外さない限り、IT化は介護・福祉の分野の将来を照らす光明にもなると確信している。  
(貴造)

障がい者が作る

ふくしの

逸品

色とりどりのラインが美しい「かご」。お部屋に置けばオシャレ感が一気にアップしそう。

就労継続支援B型事業所「ワークセンターミナと」

(新潟市中央

区古町通13)

では、知的障

害のある利用

者たちが授産

製品としてクラフトテープ

細工品を作っています。

素材は幅約12ミリの紙製ク

ラフトテープ。紙バンドと

も呼ばれます。テープの色

合いは素材本来の生成りの

ほか、着色されて様々な色

があります。「使う人を想

像してカラフルにおしゃれ

に仕上げます。部屋のアク

セントになると人気です」

就労継続支援  
B型事業所

ワークセンターミナと

〒951-8063 新潟市中央区古町通13番町  
5149ノ1 ☎025(210)30030  
(運営：社会福祉法人新潟市中央福祉会)

と目標工賃達成指導員の岩野可菜子さん。

かごを作る際、まず取り

掛かるのは「土台」と呼ぶ

底の部分。長めに切った

テープ11本ずつを、縦糸と

横糸のように編み、土台を

作ります。次に別のテープ

を土台の脇に巻き、かごの

側面を編み上げます。側面

の立ち上がり約22センチに

すればLサイズの「Lかご」

に、約14センチにすれば「Mか

ご」になります。

デザインを考えカラー

テープをどこに使うか、ア

イデアと工夫が必要です。

テープを縦に裂けば幅を

細くできます。

9センチ四方のコ

スターは細くし

たテープを編ん

で作ります。

値段は税込みでLかごが

980円、Mかごが680

円、コースターが150円

など。このほか、様々な商

品も含めて新潟ユニゾン

ラザの「福祉の店パレット」

ト」、NEXT21「まちな

かほっとショップ」で販売

中。

売り上げに直結しやすい

イベントでの販売会はこれ

まで、感染禍で遠ざかって

おり、再開が待たれます。

### 作業所を訪ねて

新潟市中央区の北部、

日和山浜に程近い場所に

「ワークセンターミナと」

はあります。事業所名の「ミ

ナと」は新潟

の「湊町」と

「皆と一緒に」

を掛けている

そうです。

利用者は14

人(定員20人)

です。各世代

の中でも20代

と30代が比較

的多く、若さ

と活気があり

ます。「利用

者さんたちは

穏やかな方が

多く、落ち着いて作業して

います」と、目標工賃達成

指導員の岩野可菜子さん。

作業室では利用者たちが

分担当を決めて、請け負った

封入・封緘作業のほか、ク

ラフトテープ細工に取り組んでいました。

「利用者さんにはそれぞれ

が得意な作業を分担して

行ってもらい、それらを仕

上げます」と岩野さん。難

しい箇所などは職員が担当

します。

クラフトテープには粘着

剤が付いてい

ません。必要

に応じて紙用

接着剤で固定

するのです

が、接着剤が

乾くまで、そ

の製品作りは

ストップしま

す。こうした

時間も必要な

ため、作るの

は月に10〜30

個です。

カラフルな

色使いが人気のクラフト

テープ細工。静かな作業所

で、穏やかな利用者たちが

協力して生み出していま

した。

## カラーライン鮮やかに お部屋がオシャレに



クラフトテープ細工製品のかご、バッグ、コースターなど

### クラフトテープ細工



お薦め

新潟ユニゾンプラザ2階にある「図書情報ルーム」(愛称・ユニゾンの図書館)お薦め「今月の本」。



### 男女格差学べる一冊

『男女格差後進国の衝撃』(治部れんげ著)は日本の男女格差(ジェンダーギャップ指数)が153カ国中121位と指摘する。G7の一国の先進国としてはあまりの順位だ。男女格差の例といえるかどうか分からないが、例えば宰相。ロシア軍事侵攻に關したニュースに登場した北欧フィンランドの首相が30代半ばの女性であること

に驚いたのは小生だけではなく。隣国スウェーデンも首相は女性だ。

一方、わが国で女性宰相はまだ誕生していない。宰相どころか、住民代表の議員は国会も地方もわが国はおしなべて男性が多い。

先日、テレビのバラエティ番組が「男女格差」をテーマに話し合っていて興味深かった。今の日本に若い女性タレントが「困らない」「むしろ、女性だから得することもある」。

筆者は元記者。平易な文章と冷静な筆致は好感が持てる。男女の格差や平等を学ぶに的確な一冊かと。

### 内容は終始ほんわか

続いて「養老先生、病院へ行く」。「バカの壁」などで著名な養老孟司氏と、氏



が東大医学部の教壇に立っていた時の教え子、中川恵一氏との共著。

今秋で85歳という養老先生、教え子に相談して二十数年ぶりに東大病院で検査を受け入院したという。そのいきさつや、時代とともに進歩してきた医療への思いなどをつづる。

養老先生が第1章「病気はコロナだけじゃなかった」と第3章「なぜ『医療』と距離を取るのか?」を、中川氏が第2章「養老先生、東大病院に入院」と第4章「なぜ病院に行くべきなのか?」を書いた。

第5章は、代表作「テルマエ・ロマエ」の漫画家ヤマザキマリ氏が2人に加わっての鼎談となる。テーマは「養老先生、どうして病院が嫌なの?」。

終始、ほんわかした内容だが、養老先生のお人柄か、人気のようなだ。

「意見」感想  
お寄せください

〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2  
新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課  
ファクス 025-281-5528  
Eメール k-kaku@fukushinigata.or.jp

### パレット新潟店営業日

2022年		8月					
日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

営業時間 11:30~16:30 □…は休業日

2022年		7月					
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

福祉の店  
パレット情報

### 編集後記

自らの過ぎ来し方に一つの後悔もない。そう言えるのは聖人君子だけでは。普通なら思い出さたくない過去もある。巻頭記事の中村優美さんはつらかったはずの過去も淡々と語った。その中で「つながる、支え合う」と幾度か聞いた。

「大勢とつながっていれば、自分の苦手を誰かがカバーしてくれるかも」。そんな支え合いがあれば生きづらくても生きていけると。

過去は変えられないが未来は変えられる、という。その未来のためかどうか、優美さんは多彩な活動を続け、人とのつながりを大切に。向学心も旺盛で、卒業した放送大学に再入学して学ぶ。

まだ30代。未来を輝かせる時間も下地も十分。充実した未来を築いていってほしい。前半生を一気に上書きするほどに。そう願ってやまない。(佐)

この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5584  
発行人/関原 貢  
定 価/5 円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた  
令和4年7月1日発行(毎月1日発行)  
印刷/島津印刷株